

輝き



新しい年のスタートにあたって

生徒の皆さん、保護者の皆さま、2025年がスタートしました。今年もよろしくお願ひいたします。

そして、この学校だよりを毎月届けさせていたっている地域の皆さま、今年から本校は地域の皆さま方への「年賀状」を省かせていただきました。昨年まで「PTA 協力金」から年賀はがきを購入していただき、百枚近い年賀状を作成していましたが、年賀状の発送は時代の流れとともに変えていかなければいけないことと考えました。そこで、地域の皆さまには、この1月号の便りで新年のご挨拶をさせていただきます。明日から3年生が「ふれあい面接」でお世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

さて、3学期がスタートし、元気に登校する生徒の姿は教員を前向きな気持ちにさせます。学校は生徒たちに「確かな学力」を付けることが一番の目的の場所です。南葛西中では年間を通して「授業を観合う会」と称して教員がお互いの授業を観合い意見交換し、授業改善に努めております。

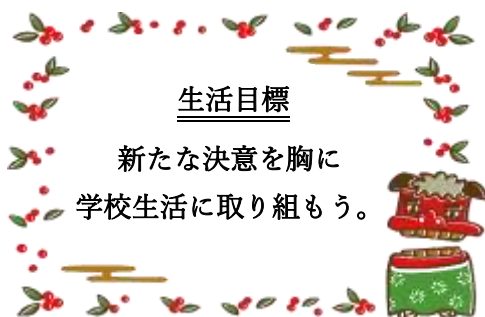
また、研究授業も計画的に行い、講師を招致し研究協議も毎年行っております。今月15日が校内授業研究日になっております。

それ以外にも区内の中学校教員で行う区中研修、区の学力向上プロジェクトチームの案を取り入れた数学の「総合検定」、国語の「よむ YOMU ワークシート」の実施、英語の「EESA 授業力アップ講座」への教員の参加など日々生徒の学力アップに向けて取り組んでおります。今年も学校として見直しを図るべきところは見直しながら、生徒に確かな学力をつけてもらうため、地道な取組を続けていきたいと考えております。

日 曜	行事予定
1 水	元日
2 木	
3 金	
4 土	
5 日	閉庁日終
6 月	成績一覧表調査
7 火	冬季休業日終
8 水	始業式
9 木	ふれあい面接始(3)
10 金	ふれあい面接終(3)
11 土	
12 日	
13 月	成人の日
14 火	
15 水	授業研究
16 木	
17 金	百人一首大会、避難訓練、 専門委員会、学校公開
18 土	
19 日	
20 月	生徒朝礼、安全指導
21 火	書初め大会
22 水	
23 木	
24 金	合同作品展始
25 土	
26 日	都立推薦入試(3)
27 月	都立推薦入試(3)、合同作品展終
28 火	
29 水	外国人との共生についての講演会(全)
30 木	校外学習事前集会(1)
31 金	校外学習(1)、音楽鑑賞教室(2)、 都立推薦発表

生活目標

新たな決意を胸に
学校生活に取り組もう。



～ 学校評価ご協力をお願い ～

新年を迎え、学校では今日から3学期が始まりました。3学期は、1年間のまとめをするとともに、新しい生活の準備をしていく時期となります。南葛西中でも1年間の活動を振り返って、4月から始まる新年度に生かしていきたいと考えています。アンケートを実施いたしますので、南葛西中学校の活動について、保護者の皆様のご意見をお寄せください。生徒には Teams、保護者の皆様には tetoru（テトル）で URL をお送りいたしますので、1月19日（日）までに回答をお願いします。

副校長 千葉 悟

～ なぎさ餅つき大会 ～

12月15日（日）なぎさニュータウンにおいて、「つきあい餅まつり」が行われました。本校からは1, 2年生42名がボランティアとして参加してきました。

前日の土曜日は寒風が吹き荒れていましたが、日曜日は風もやみ、天候に恵まれました。お餅の製造を担当した2年生男子のグループは、大きなへらで炊き立てのもち米を餅つき機に押し込む作業を行いました。お餅をパックに詰める作業を担当した2年生女子のグループは、切られた餅を手際よくパック詰めし、まるで職人のようでした。お持ちの配布、販売を担当した1年生のグループは、いっぱい集まったお客さんに元気よく対応していました。小さな子供たちの餅つき体験を担当した2年生女子のグループは、集まってくれた子供たちに優しく接したり、餅つきの際に喝采を送ったりするなど一生懸命頑張っていました。

それぞれの作業のあとは、つきたてのお餅をきなこ餅やお雑煮でいただきました。半日という短い時間でしたが、生徒の充実した姿を見ることができました。自治会の皆さまには、貴重な体験の機会をいただき、さらには生徒にとっても温かく接していただき、感謝の絶えない1日でした。

つきあい餅まつり担当 三枝 剛



～ 特別支援教育 ～

本校では特別支援委員会や特別支援に関する校内研修会を定期的に行っております。この研修会等により、教育的配慮が必要な生徒が不安を感じることなく学校生活を送ることができる適切な指導、支援ができる環境づくりを行っております。スクールカウンセラーや巡回教室、心理士、外部の関係機関とも連携をはかっています。

教育的配慮が必要な生徒に対しては、その生徒が困っている点の改善を目指し、短期目標、長期目標を設定して対応しています。担任をはじめ、関わるすべての教員が連携してサポートします。

お子さまに関して困っている点、気になっている点がございましたら、担任へお伝えください。その情報をもとに、管理職、特別支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカー、関係職員などで連携して対応していきます。

生徒自身の不安や困り感を軽減するためには、教育的配慮が必要であることの「受容」が大切です。生徒に対し、適切な教育的配慮を行うためにも、ご協力をお願いいたします。

特別支援教育担当 皆川 裕希



学校徴収金担当より

今年度の教材費の引き落としは12月27日（金）が最終日でした。しかし、未納額があったご家庭に置かれましては、不足分をご確認の上、**1月24日（金）**までに必ず入金してくださいませようお願い申し上げます。もし、1月の入金も未納のままになりますと、不足分の現金を保護者に直接お持ちいただくことになります。校外学習等も控えておりますので、忘れずにお支払いください。

学校徴収金担当 阿部 健嗣

